

4.5 事後確認型一般競争入札

事後確認型一般競争入札とは、入札までの手続を簡略化し、開札後、落札候補順に資格の詳細確認を行います。そのため、開札状況登録から開札結果承認までは、通常の入札より資格等の詳細確認を行う時間がかかります。

事後確認型一般競争入札に参加する場合は、まず、入札案件一覧から複写承認申請を行います。資格を審査後、その結果を通知して、入札参加資格を認められた業者が入札に参加できます。

(1) 業務の流れ

